あおい通信 第89号

第89号 平成24年10月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区東大泉3－17－5
カトウビル3F
電話 03－3978－0919

東京江戸散歩 その四十七 雑司ヶ谷 ④

面影橋↑と
「山吹の里」のヤマブキ→

写真・文 七海邦夫

根生院・戦災で焼失したため今はこじんまりとした寺であるが、朱塗りの山門にかつての面影が残る。徳川幕府の祈願所で新義真言宗関東三十ヶ寺の触頭と言う寺格を誇っていた。寛永十三年、家光の命で神田白壁町に創立、湯島、池の端と転居し、明治三十五年（一九〇二）に現座地に変わる。金剛宝山延壽寺根性院と言い、幕府の老中阿部正弘（備後福山藩主）の下屋敷跡に建てられたが、池あり丘ありの広大な敷地であった。庚申塔や道標など貴重な石碑、井筒井戸などが残されているが、現在は本堂改築中で中に入れない。

家光所縁の根性院

南蔵院・鎌倉街道沿いにある古刹で、明治の落「語家三遊亭円朝の名作怪談乳房榎」の舞台になった寺である。室町時代に円城比尼と言う尼が回國修行中、奥州平泉の農家で入手した薬師如来が本尊で、聖徳太子作で、藤原秀衡の念持仏という。この地を通りかかるとにわかに重くなり、草庵を建て安置したのが始めと伝える。大鏡山の山号は寺の前に「鏡が池」と言う大きな池があった事にちなむ。神田川の左岸のこの辺りは、江戸時代は「砂利場村」と呼ばれ、砂利の採取場が有った。境内に入って右手に、馬頭観音と庚申塔、地蔵が、この先に「山吹の里弁財天」と刻まれた供養塔があって、太田道灌ゆかりの地に関連したもの。反対側の自然石は上野の戦争で敗走した彰義隊九名を弔った首塚だ。墓地には江戸時代の相撲力士の墓があり、音羽山、雷、粂川、花籠、片男波、二子山、鯨井などの相撲年寄りの名が並ぶ。なかでも雷代々は年寄筆頭として角界に勢力があったので、二代、三代雷権太夫らが葬られている。

南蔵院の山門

山吹の里と面影橋・神田川に面影橋の手前に「山吹の里」と彫られた観音像がある。道灌伝説にちなむもので、「七重八重花は咲けども山吹のみのひとつだになきぞかなしき」の歌は有名である。只、この供養塔は後世に文字を削って彫り直した形跡がある。山吹の里と言う場所はこのほかにも、埼玉の越生町、横浜市六浦、荒川区町屋なども伝承があり、はっきりしない。面影橋は神田上水工事が行われた承応年間（一六五二～五五）に架けられたという。伝説では昔この辺りに住んでいた姫が美人だったので次々と災難に襲われた。そこで姫は命より大事な黒髪を切り、変わり果てた姿を川面に映したと言う悲話がある。かつては神田川を利用した染物業が盛んであったが、今は衰退した。近くの東京染ものがたり博物館では、貴重な江戸伝統工芸を見学したり染色の体験ができる。

成瀬記念講堂（日本女子大学）・日本女子大学キャンパスの目白通りに面して建つ。明治三九年（一九〇六）築の貴重な西洋レンガ館。明治初期にイギリスから招かれて西洋式の石造レンガ建築を日本に教えたコンドルの孫弟子田辺淳吉の設計。内部は西洋の教会様式を基本とし、中世貴族の館のホールの要素を加味してある。マーチ型の優雅な梁が広々とした心地よい空間を作っている。

成瀬記念堂（手前）

（続く）

世評・時評

毎度お～。やっと秋らしゅうなって、ヤレヤレ。

ロンドンオリンピックでメダルの数が世界五位の日本は、チームやと強いねェ。パラリンピックも、ハンデのある選手の競技に感動したけど、何や報道に熱がなかったと思わへん？

東京は二十年のオリンピック招聘に躍起やけど、夏がこんな暑うては、選手も観客も皆死んでまうで。東京の人が招聘に積極的ないいうん、そう思てるのとチャウか？

ほんで、金メダル取った選手、何でメダルを噛むんやろ…。歯ァ剥き出してメダル噛むんはえげつないし、金メダルの尊厳傷つけるし、メダル用意した開催国に失礼やわ。何でケッタイなことするんやろか？

ケッタイ言えば、今の世の中、ほんまケッタイなこと多いなぁ。今迄経験した事ない雨降って洪水起すか思たら、降らない所はアメリカ中西部みたいに大旱魃！早くも世界的な食料不足の心配や。

領土問題で危機的事態やら国内に問題山積ゆうのに、政治家はんは自分のことでウロウロ…。安心して国を託せる人がおらへん。早ようステイツマン（大政治家）出てきて欲しいわ。

国がそんなンやから、巷も子供虐待や友達いじめが横行する。人間、人をいじめると偉うなった気になるんかいな。車持つと偉うなって、狭いアーケードぶっ飛ばし人を撥ねよる。昔は「そこ退け、そこ退け、お馬が通る」やったけど、今はお車様かい。ほんま、日本はどないなるんやろ。

中国の反日デモや中東の反米デモ、シリアの内戦見ても、世界的に狂気が蔓延しよる。もう人類が自滅せんように、祈るばかりやねん。

（やぶにらみ）

伊勢の海

秋月（河角進）

涓滴の　集う三峡　白帝城
伊勢の海　女人逞し　鮑採る
神舞の　船来る島　秋涼し
久々に　似た顔揃う　盂蘭盆会
木曽馬の　群れて高原　秋に入る
着席し　安堵の汗拭く　夜学生
子等が焚く　迎火皆で　声揃え

利用者さんの紹介コーナー

川上　馨（日）

細身ですが、病歴もありません。よく元気にやっている、と自負しています。しかし今、腰痛のために葵にお世話になっています。よろしくお願いします。

大久保　芳子（日）

昨年、くも膜下出血で倒れ、三か月のリハビリ後に葵さんで昨年の十二月よりお世話になっています。

お仲間さんと楽しく過ごしております。

今澤　靖介（金）

趣味はいろいろあります。カラオケ（友の会や敬老館）、小唄、ハーモニカ。囲碁は今勉強中です。皆様と楽しく一日を過ごしています。

うちのお盆さま

橋本　廣子

東京では七月お盆が多いのに、我家では昔から八月お盆だ。八月お盆の檀家は少ないから、御住職自ら棚経（たなきょう）に来て下さるので、大変有難いことである。

八月十三日はお盆さまを迎える準備。午前中に庭の白茅（ちがや。薄に似てツバクロともいう）を刈って干し、午後にそれで17㌢位の標縄（しめなわ）を作る。細い竹を二本切り、その先が天井で曲がる位に揃え、下部一㍍位は枝を落す。

此処までは主人の仕事で、私は位牌や仏具等を磨き、元通りに納めると、主人を手伝い盆棚を組立て仏壇の前に設置。盆胡蓙を棚に掛け、棚前の両端に竹を立てて固定したら目の高さに標縄を張り、正面に鬼燈（ほおずき）を吊るす。鬼燈は御霊を導く灯明の役。西瓜・南瓜・篭に盛った野菜・果物を仏壇の中に供え、水鉢に溝萩の花束を載せ盆棚の右側に置く。水は朝入れ、毎日午後三時に必ず庭に撒くことになっている。仏壇に入らない香や花瓶、お鈴等は盆棚に置く。仏間の鴨居に「南無妙法蓮華経」の掛軸を十数本掛けて準備終了。

夕暮になると、各自小さな提灯を提げて御先祖様を迎えに行く。昔は姑や主人の弟妹の家族、今は私達の子供と孫達と、時と共に顔触れは変わっても、行事は変わらない。門の内側に埋めてある砂の入った香炉に火の点いた線香の束を挿して迎え火とする。各自の提灯に灯を入れ、先祖の御霊を家へと導き迎える。提灯の灯をけし、皆が盆棚に線香を上げ終わると、夕食のお膳とお茶を供えてお迎えの行事は終る。

十四・十五日はお棚参りの客の接待、また十五日は主人の弟妹と息子達の家族が揃って賑やかに夕食をとり、夜遅くまた提灯と線香を持ち、大勢で御先祖様を門まで送る。

翌十六日早朝にお墓にお礼参りして、お盆様の行事は完了するが、この二日間に、うどんやおはぎ・お土産団子等を作って供えたり、胡瓜や茄子で馬を作って供えるのも、また毎年の事である。私は五十年余この行事を守って来たが、私の務めだと思い、これからも生きている間は守って行こうと考えている。

野球雑話

山寄　利重

最近のプロ野球は面白くない。何故か？

さっぱり打てないからである。各チーム共、良い打者は一人か二人しかいないので、5回に入っても0対0。それが普通で、最後は1点で勝負がつく。これでは高い額の金を払って観に行く気にもなれない。

打撃　強振しないと球は飛ばない。強打者は皆強く厳しく打つ。打撃が弱いとヒットは出ないものだ。それに、連続してヒットが出ないと得点には繋がらない

2アウトフルベース（満塁）の場合、得点は殆どない。投手が注意して良い球を投げるからである。強大な家も蟻一匹から崩れると言われる如く、油断しては勝負に勝てないものである。

監督　打者がノーアウトで出塁すれば、監督は必ずと言ってもよい位に次の打者にバントを命ずる。大分昔のことになるが、横浜ドラゴンズのGONDOHさんは珍しくバントなしで横浜を優勝に導いた有名な監督で、忘れないで欲しい。彼は現在、中日のピッチャー・コーチをしていて元気だ。

エラー　野球にエラーは禁物だ。現在日本ハムエースピッチャー斉藤君が早稲田在学時代、リーグ戦で7回迄完全試合をやっていたが、内野手のエラー一個で5点を失い、負けたことがあった。野球にエラーは禁物だ。

思い出　太平洋戦争の末期の昭和18年8月、戦局は急激に悪化、大学の徴兵猶予も廃止となり、学徒出陣も間近い頃、野球は敵国の競技を理由に禁止となった。出陣前にせめて最後の試合をしたいと、早慶の野球関係者の奔走でやっと許可が下り、母校早稲田近くの阿部球場で、最後の早慶戦が行われた。その球場は、早大野球部の創立者阿部磯雄氏の名を借りた球場。

あおい俳壇

短歌

九十九里の　海荒るるらし　山峡の
青田に白鷺　降り立つを見る

麻生　伊登子

早々と　今日の祝の　膳作り
夜更けの庭の　虫しぐれを聞く

吉野　波な

なき母の　姿写せり　我が影に
櫻葉陰の　緑りと共に

俳句

花笠を　輪に入り踊れり　夏祭り

富寿郎

ビール出ぬ　デイケアの　夏祭り
ビアフェスト（ビール祭り）語る
若き日の　ミュンヘンを

相田　美代子

便りあり　暑中見舞いの　二三枚
涼しさや　寂しさに似た　秋の夜

吾野紀行

高橋カツ

・苦労せし人生も亦過去と語り合いつつ
なつかしみ居り
・車椅子の父を園（かこみ）ていたわれる
家族のさまに感動のわく
・あじさいの花あでやかに風薫り吾野の里は
輝きてあり
・野鳩啼きあじさいの花彩（いろ）増して朝の
目覚めの爽やかにして
・立葵化をめでつつ朝夕に心なごみつ
日々の暮らしを

葵友の会　広報コーナー

9月度行事の結果

会

12日（水）西武園ホテル掬水亭、21名参加。美しい景色と美味しい中華料理を満喫しました。

会

21日（金）バンバンにて、12名参加

10月度行事の予定

会

芝の高級料亭「うかい亭」にて豆腐懐石を味わいます。

会

19日（金）バンバンにて。

11月の旅行は、草津・白根・軽井沢です。

西武園ヒッチはい句

加藤　勇

掬水亭マンゴープリンが
最高だ

お土産は土蒸の皮と
お茶の飴

工場もアウトレットに
様変わり

若向きにカストマイズ
されたアウトレット

◆編集委員会より　お願いです

「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しています。担当飯島迄お申し出ください。